

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	自動車運転者の労働時間等の改善のための環境整備等		担当部局庁	労働基準局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	開始：平成20年度		担当課室	監督課、労働条件政策課		達谷窟 庸野		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	トラック運転者における長時間労働抑制・改善基準遵守のための環境整備、バス事業における改善基準を遵守した運行計画の作成支援及び改善基準遵守のための自主点検活動の推進に取り組むことにより、自動車運転者の長時間労働の抑制に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①トラック運転者における長時間労働抑制等に取り組んでいる好事例集の周知を目的としたセミナーの開催 ②バス運転者における改善基準を遵守した「標準運行計画作成・改善基準チェックシステム」の周知を目的としたセミナーの開催							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	35	68	33	23	22	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	35	68	33	23	22	
	執行額	33	55	27				
執行率 (%)	94.3%	80.9%	81.8%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)
	① セミナーに参加したトラック事業者の80%以上から、「長時間労働の抑制の取組を実施又は検討したい」との回答を得る。(20,21,22年度)	①成果実績	%	93.1	99	99	80	
		①達成度	%	116.4%	123.8%	123.8%		
	② セミナーに参加した荷主の80%以上から、「セミナーは有益であった」との回答を得る。(22年度)	②成果実績	%	-	-	98	80	
		②達成度	%	-	-	122.5%		
	③ セミナーに参加したバス事業者の80%以上から、「長時間労働の抑制の取組を実施又は検討したい」との回答を得る。(22年度)	③成果実績	%	-	76	92	80	
		③達成度	%	-	95.0%	115.0%		
	④ セミナーに参加した旅行業者の80%以上から、「セミナーは有益であった」との回答を得る。(22年度)	④成果実績	%	-	-	100	80	
		④達成度	%	-	-	125%		
	活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度
①全国7カ所計1,400のトラック事業者及び荷主事業者に対してセミナーを開催する。(21,22年度)		①活動実績			528	693	642	-
		(当初見込み)			59%	49.5%	(1400)	(-)
②全国3カ所計900のトラック事業者を対象にセミナーを開催する(20年度)		②活動実績			-	698	210	-
		(当初見込み)			-	99.7%	(840)	(-)
③EU諸国における自動車運転者に係る労働時間等の法規制、労働実態等の調査研究事業であるため、定量的に評価することは困難である	③活動実績			-	-	-	-	
(当初見込み)				-	-	-	(-)	
単位当たり コスト	7,725円		算出根拠	①セミナー参加社(トラック・荷主・バス・旅行事業者) 852社 ②標準運行計画作成・改善基準チェックシステムを配布した会社 840社 ③標準運行計画作成・改善基準チェックシステムをダウンロードした会社 1,803社 ④合計(①+②+③) 3,495社 ⑤執行額 27百万円 ⑥単位当たりコスト(⑤÷④) 7,725円				
平成 2 3 ・ 2 4 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	事業費	13	13					
	管理運営費	9	8					
	消費税	1	1					
	計	23	22					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状・ 況・ 予算 の	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	【企画競争理由】 本事業はトラック事業者に対するセミナー、バス事業者及び旅行者に対するセミナーの開催等を行うものであるが、講師の選定方法やセミナーで用いるコンテンツに係る情報提供の方法、セミナーへの集客のための周知広報の方法、セミナー中でのデモンストレーションの方法等、事業の質に係る部分については、具体的な仕様の提示が困難である。 このため、本事業の委託先の選定にあたっては、複数の者から企画書等を提出させ、その専門性や業務遂行能力が最も優れた者を選定する企画競争によることとした。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	必要性を精査した上で、所要の予算計上を行う。		
	予算監視・効率化チームの所見		
現状通り	自動車運転者の労働時間等の改善のための環境整備等については、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減は困難			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
27百万円(平成22年度精算額)

〔 事業管理、受託者への指導 〕

※企画競争

A. 株式会社 日通総合研究所
27百万円(平成22年度精算額)

- ①トラック運転者における長時間労働抑制等に取り組んでいる好事例集の作成・セミナーの開催等
②バス運転者における改善基準を遵守した「標準運行計画作成・改善基準チェックシステム」の作成及びこれに関するセミナーの開催等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.株式会社 日通総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	講師謝金、旅費、印刷費、送付費、会場費等	19			
管理費	事業運営に必要な経費	2			
人件費	給与	5			
消費税	消費税	1			
計		27	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 日通総合研究	自動車運転者の労働時間等の改善のための環境整備等の委託	120	随意契約(企画競争)	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					